

第2回 可児市地域公共交通協議会 議事要点録

1. 開会日 平成30年2月14日（水曜日）
開会時間：午前10時00分
閉会時間：午前11時30分
2. 開会場所 可児市役所4階第1会議室
3. 出席者 会長、協議会委員11人、委員代理3人、事務局3人
4. 議事
報告第3号 東濃鉄道株式会社 都市間高速バス「可児市役所前～名古屋線」の
廃線について

報告第4号 市地域公共交通網形成計画の策定にかかる基礎調査結果について
（中間報告）

協議第2号 市コミュニティバス「おでかけしよKar」の本格運行について
5. その他 公民館の地区センター化に伴う停留所名変更について

<p>6. 会議内容</p>	
<p>開会 事務局</p>	<p>開会を宣言した。</p>
<p>会長あいさつ 会長</p>	<p>あいさつを行った。</p>
<p>非公開情報の確認 事務局</p>	<p>非公開情報はない旨を報告した。</p>
<p>議事録署名者の指名 会長</p>	<p>議事録署名者として、2名の委員を指名した。</p>
<p>報告第3号 事務局</p>	<p>東濃鉄道株式会社 都市間高速バス「可児市役所前～名古屋線」の廃線について、資料1に基づき説明を行った。</p>
<p style="text-align: center;">質 疑 応 答</p>	<p>意見及び質問なし</p>
<p>報告第4号 事務局</p>	<p>市地域公共交通網形成計画の策定にかかる基礎調査結果について、資料2に基づき説明を行った。</p>
<p style="text-align: center;">質 疑 応 答</p>	<p>各種団体ヒアリングの「福祉運送事業者、移動支援事業者」の課題に「運転手の確保」が挙げられていないが、ボランティア事業者からは運転手の確保が非常に大変であると聞いている。この問題を計画の中に組み込み、市としてできることを考えるべきではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>各種団体ヒアリングの「福祉運送事業者、移動支援事業者」の課題に「運転手の確保」が挙げられていないが、ボランティア事業者からは運転手の確保が非常に大変であると聞いている。この問題を計画の中に組み込み、市としてできることを考えるべきではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ヒアリングをおこなった際には、運転手の確保について苦慮しているとの意見もあり、市としても問題として認識している。また、運転手不足の他にも車両や保険の問題もあり、それらを含めて計画を考えていきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>補足として、路線が重複しているところもあるので、それぞれの移動手段の役割を整理し、持続可能な公共交通を目指して、課題の抽出と計画の策定をしていきたい。</p>

委員	<p>市民が公共交通に求めていることは、自動車が利用できなくなったときの代替である。将来的に無人バスを走らせるなど、20年先も見据えた計画を検討すると良い。全国に先駆けて、可児市内で無人バスを走らせてもいいと思う。</p>
事務局	<p>将来的に「まちづくり」に合わせて、公共交通を連携させていくことが重要であり、それを含めて計画を策定したい。</p> <p>今後、地域や年齢といったクロス集計を行うことで課題を整理していく。</p>
委員代理	<p>地域公共交通網形成計画はおよそ5年後の将来像を描いた公共交通のマスタープランではあるが、その先の将来を見据えた内容を盛り込むことも可能である。</p> <p>市民は自動車の代替として公共交通を利用したいとのことではあるが、運転できなくなった後に公共交通に転換することはなかなか大変である。自動車が運転できなくなる前から公共交通を利用することが大切であり、そのような環境を整えられると良い。</p> <p>また、地域の移動手段の確保にあたっては、岐阜市のコミュニティバスのようなやり方もあるので、参考にしようか。</p>
委員	<p>今回の市民アンケートは、前回の協議会で話をした想定回収率を上回っており、公共交通に対する市民の意識の高さがうかがえる。</p> <p>また、運行ルートの重複が見受けられるとの回答があったが、空間的に重複しているように見えて、時間的には重複していないことや、利用者層が異なっていることもあるので、検討する際に注意が必要である。</p> <p>福祉輸送について、ヒアリング等で状況を把握したことは評価ができ、その状況も踏まえて計画を検討してほしい。</p> <p>運転手の確保は大切な問題であり、市で何ができるかはわからないが、検討してほしい。</p> <p>自動運転の実用化についてはまだ具体的なことが見えてきていない。実現には様々な問題がある。</p>
委員	<p>自動車は非常に便利であり、それをどのようにして公共交通に転換するかが、課題となってくると思う。</p> <p>コミュニティバスのマップ、時刻表、ホームページがとても分かりづらいと思う。市役所に電話してバスの行き方を質問したら案内してもらえないか。乗り継ぎが無ければ何とか自力で調べられるが、乗り継ぎが出てくると複雑である。</p>

事務局	<p>自動車との共存が今後の大きな課題となる。</p> <p>普段の業務において、市民からバスの利用について問い合わせがあった際には、市の職員が説明をしているが、その他の案内方法についてはバス停のQRコード導入など様々な方法があるため、費用などを考えながら、検討していきたい。</p>
会長	<p>市の職員が調べて説明するのはどうしても時間がかかる。いろいろなシステムを使えるよう、考えていった方が良い。</p>
<p>協議第2号</p> <p>事務局</p>	<p>市コミュニティバス「おでかけしよK a r」の本格運行について、資料3に基づき説明を行った。</p>
<p>質 疑 応 答</p>	
委員代理	<p>Kタクは区域運行である。停留所の設置については、事前に道路管理者や地権者等の関係者に照会を行ってほしい。</p>
委員	<p>実証運行では、観光での利用や市外からの利用が多いという特徴があり、当初の運行の目的を達成している。また、利用者の満足度も高く、十分な結果が出ているので本格運行を行っても良いのではないかと。</p> <p>ただし、事務局からの説明でもあったように、周知については課題が見受けられるため、本格運行に向けて一層周知を行っていく必要があり、その中でも観光客への周知のために、駅などでPRを行うことや、ホームページ等でわかりやすい情報提供が行えると良い。</p> <p>また、バスロケーションシステムは簡易で安価なものもあるので、導入についても検討した方が良い。</p>
事務局	<p>実証運行の際には名鉄新可児駅の改札口にKバスのパンフレットを設置していただいた。本格運行の際にも引き続きPRを行っていきたい。</p> <p>【協議第2号について了承】</p>
会長	<p>本格運行にあたっては、前回の会議での意見も参考にしながら進めてほしい。</p>

その他 意見	<p>運転免許証の返納には自動車の代わりとなる移動手段が必要である。</p> <p>また、交通弱者のためにも名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）の存続が必要であるが、駅前に駐車場がなく不便である。</p> <p>さらには、可児市の観光を考えると可児市とセントレアをつなぎ、観光客を呼び込むことが必要だと考える。</p>
委員	
事務局	<p>運転免許証の返納者には「さつきバス」、「電話で予約バス」、「東鉄路線バス帷子線」の回数券を配布しているが、更に改善していくよう、計画においても考えていきたい。</p>
委員	<p>ファミリーサポートセンターでは、移動支援として預かりに伴う送迎を行っているが、この活動はボランティアで行っており、その担い手の問題がある。計画の中でこの問題についても考えてほしい。</p>
事務局	<p>可児駅前に「子育て健康プラザ」もできるので、その際の移動手段についても計画の中で考えていきたい。</p>
その他	
事務局	<p>公民館の地区センター化に伴う停留所名変更について、資料4に基づき説明を行った。</p>
閉会	
事務局	<p>閉会を宣言した。</p>